

# 【 花巻市 不登校の状況 】

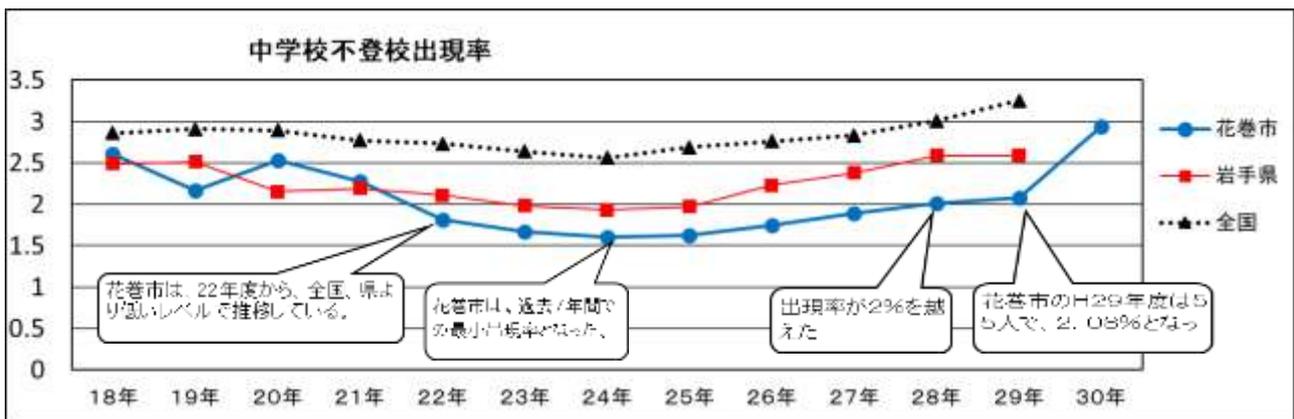
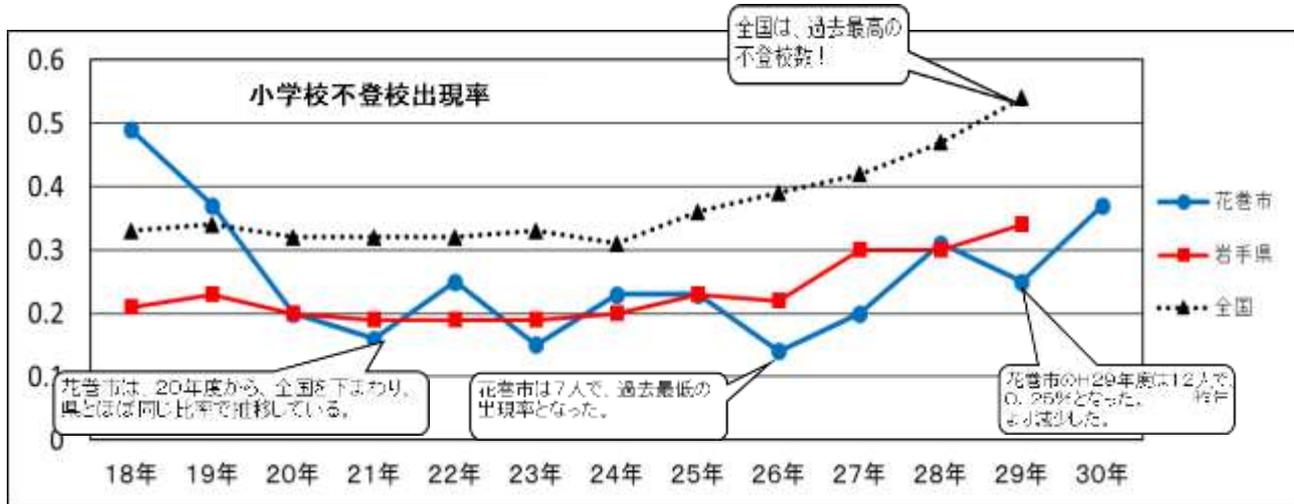
資料No. 7

## 1 不登校児童生徒の推移(H17~H29)

	小学校			中学校		
	花巻市 (%)	岩手県 (%)	全国 (%)	花巻市 (%)	岩手県 (%)	全国 (%)
平成17年度	19 (0.33)	145 (0.19)	22709 (0.32)	75 (2.36)	995 (2.33)	99546 (2.75)
平成18年度	28 (0.49)	158 (0.21)	23825 (0.33)	82 (2.61)	1038 (2.49)	103069 (2.86)
平成19年度	21 (0.37)	169 (0.23)	23927 (0.34)	67 (2.17)	1024 (2.51)	105328 (2.89)
平成20年度	11 (0.20)	146 (0.20)	22652 (0.32)	76 (2.53)	998 (2.51)	104153 (2.89)
平成21年度	9 (0.16)	137 (0.19)	22327 (0.32)	67 (2.28)	847 (2.19)	100105 (2.77)
平成22年度	14 (0.25)	138 (0.19)	22463 (0.32)	50 (1.81)	789 (2.11)	97428 (2.73)
平成23年度	8 (0.15)	133 (0.19)	22622 (0.33)	48 (1.67)	734 (1.98)	94836 (2.64)
平成24年度	12 (0.23)	134 (0.20)	21243 (0.31)	46 (1.60)	705 (1.93)	91446 (2.56)
平成25年度	12 (0.23)	153 (0.23)	24175 (0.36)	47 (1.63)	710 (1.97)	95442 (2.69)
平成26年度	7 (0.14)	143 (0.22)	25864 (0.39)	49 (1.79)	791 (2.23)	97033 (2.76)
平成27年度	10 (0.20)	189 (0.30)	27583 (0.42)	52 (1.89)	829 (2.38)	98408 (2.83)
平成28年度	15 (0.31)	183 (0.30)	30448 (0.47)	54 (2.01)	876 (2.59)	103235 (3.01)
平成29年度	12 (0.25)	201 (0.34)	35032 (0.54)	55 (2.08)	843 (2.59)	108999 (3.25)
平成30年度	17 (0.37)			76 (2.94)		

※不登校数は、年間30日以上欠席者数(病気、事故による欠席を除いた人数)

※( )内は出現率。H29年度までの数値は毎年5月実施の問題行動等調査の結果より。H30年度は3月末現在の欠席状況報告より(暫定集計)



<小学校>

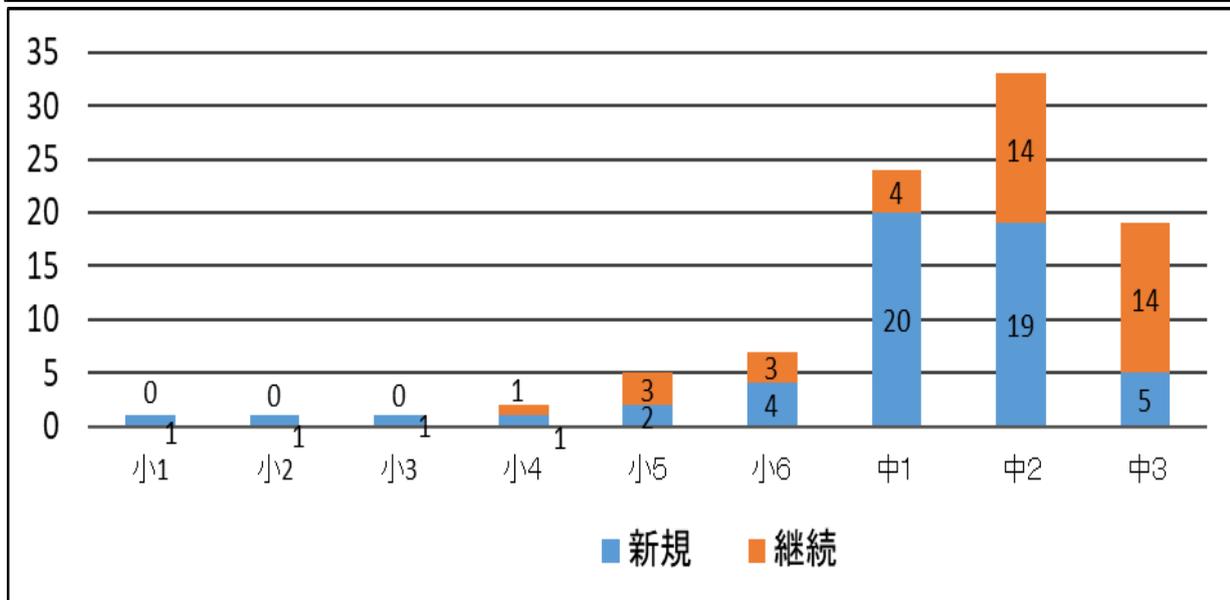
- ・H30年度欠席状況報告では、小学校の不登校児童数は17人で出現率0.37(暫定数)の見込み。
- ・H29年度は出現率が0.25%まで下がったが、H30年度は0.30%を超え、増加しそうである。

<中学校>

- ・H30年度欠席状況報告では、不登校生徒数はH29年度より増加の見込み。ただし体調不良も含まれており、最終的には76人(暫定数)よりは減少するものと考えられる。

2 学年別不登校児童生徒数(H30)

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	計
新規	1	1	1	1	2	4	20	19	5	54
継続	0	0	0	1	3	3	4	14	14	39
計	1	1	1	2	5	7	24	33	19	93



※新規＝昨年度の欠席日数が30日未満

※継続＝昨年度の欠席日数が30日以上

<小学校>

- ・小5から微増傾向にある。

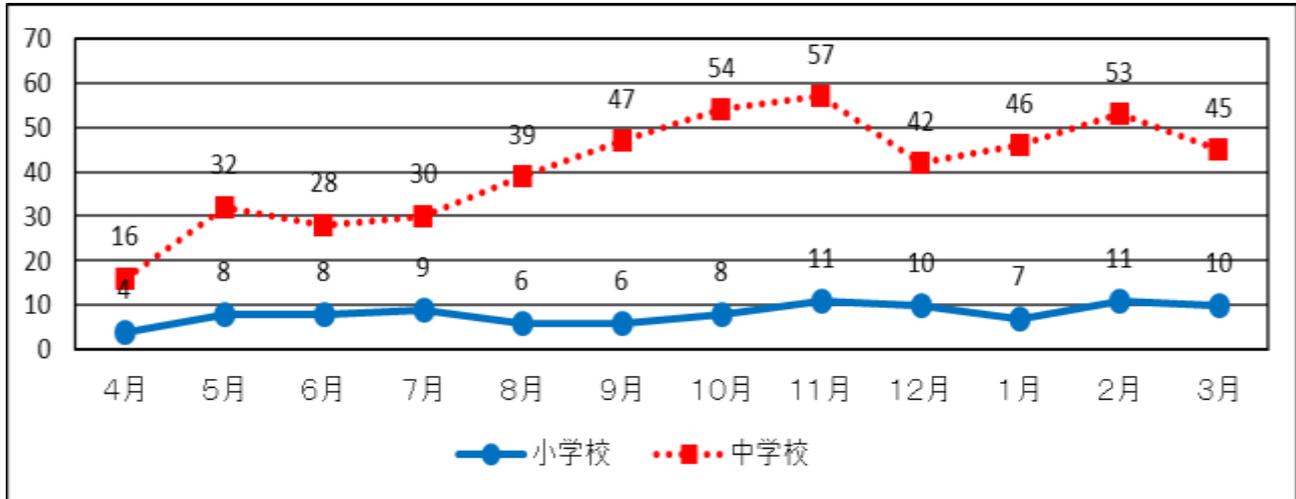
<中学校>

- ・中1の新規が急増し、中2より多い。
- ・学年が進むにつれて継続が増加

### 3 月別欠席報告者数(H30)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
小学校	4	8	8	9	6	6	8	11	10	7	11	10
中学校	16	32	28	30	39	47	54	57	42	46	53	45

※月7日以上欠席した人数



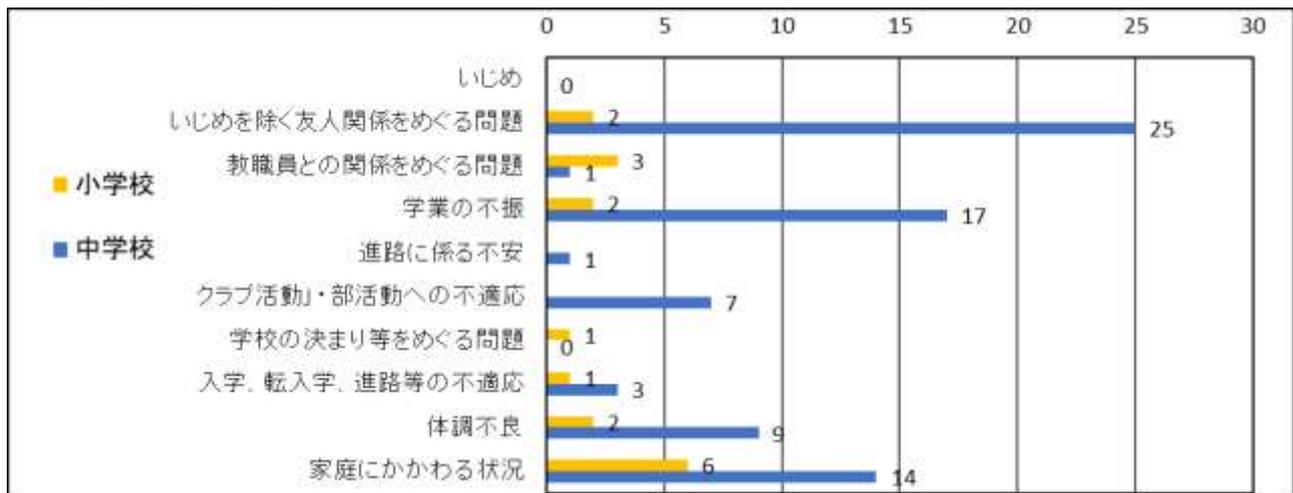
#### <小学校>

・小学校の月7日以上欠席した児童数は、ほぼ年間を通して毎月10人前後。

#### <中学校>

・中学校の欠席者数は、7月から11月にかけて増加傾向。

### 4 不登校の原因・きっかけ(H30)



#### <小学校>

・小学校における不登校の原因は、「家庭に関わる状況(養育力の不足)」が多い。

#### <中学校>

・中学校では、「友人関係をめぐる問題」が最も多く、次に「学業不振」、続いて「家庭に関わる状況(保護者の養育力の不足・両親の不和等家庭環境)」となっている。

## 5 不登校の変容状況(H30)

	回復	回復傾向	現状のまま	不登校	合計
小学校	1	4	11	1	17
中学校	7	12	33	24	76
計	8	16	44	25	93

※回復・・・年度内に不登校状況(含別室登校)を脱して、教室での授業に参加できるようになった児童生徒

※回復傾向・・・不登校や別室登校状態から少しでも状況が好転した児童生徒

※現状のまま・・・不登校もしくは別室登校状態に変化がなかった児童生徒

※不登校・・・ほとんど家庭内に引きこもった状況の児童生徒

### <小学校>

・小学校では、約3割が不登校からの回復もしくは回復傾向にある。

### <中学校>

・中学校では、約3割が不登校のままの引きこもった状況にあり、長期化する傾向が見られる。

## 6 新規欠席者の状況(H30)

※欠席状況報告より、月7日以上欠席した児童生徒の月別報告者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
小学校	0	2	2	0	0	2	7	2	2	3	5	2	27
1年		1				1	1						3
2年													
3年							1		2				3
4年			1				1			2	1		5
5年		1				1	2	1			2		7
6年			1				2	1		1	2		7
中学校	3	3	2	6	9	6	6	6	2	1	5	0	49
中1				3	8	5	3	2	1	0	2		24
中2	3	3		3		1	2	4	1		2		19
中3			2		1		1				1		5

### <小学校>

・夏休みや冬休み前後の月は登校日が少ないためか、欠席児童数も少ない。

### <中学校>

・中学校は、新規報告者49人のうち、約半数の25人が1年生である。

・1学期(4月～6月)は、2年が多く報告され、7月から2学期にかけて、1年生が多く報告されている。

## 7 中1の状況(30日以上欠席)

	新規	小6で15日以上欠席	支援学級 在籍	要・準用 保護	母子・父子 家庭	通院・医療
中1不登校 24名中	20	10	5	6	11	7
割合	83%	42%	21%	25%	46%	29%

<中1>

- ・家庭環境の状況(母子・父子家庭等)が不登校に影響している割合が高い。
- ・小6で30日までの欠席数でなくとも、15日以上欠席している生徒は、不登校に関して留意する必要がある。

## 8 不登校の現状と課題(平成30年度のまとめ)

### (1) 欠席状況の現状

#### ① 不登校の約6割が新規

- ・30日以上欠席者の93名のうち、新規54名(58%)、継続39名(42%)
- ・中学校の新規は、1学期は2年生、2学期から1年生が増加している。
- ・欠席報告数は、7月から11月にかけて増加傾向にある。

#### ② 中1の不登校が急増

- ・例年、中学校1年生で増加
- ・不登校のうち、小6で15日以上欠席ありが42% (24人中、10名)

#### ③ 長期不登校の改善が難しい

- ・家庭環境が影響している。 ・学校の働きかけが弱い

### (2) 不登校の課題

- ・新たな不登校を抑制する「未然防止・早期対応」が不可欠である。
- ・長期不登校について、組織的・計画的な対応が必要である。
- ・夏休み中や冬休み中に不登校傾向の児童生徒へ働きかける手立てを計画する必要がある。

### (3) 教育委員会としての対応策

#### ① 人的配置により相談・支援

- ・学校不適應への支援(SSW2名、生徒支援員6名・学校配置)
- ・児童生徒への教育相談(スクールカウンセラーの各校配置、教育相談員5名の配置)

#### ② 各関係機関との連携

- ・小学校と中学校の連携(小学校から中学校への情報提供)
- ・福祉機関や医療機関との連携  
(市地域福祉課、市障がい福祉課、児童相談所、警察・発達相談センター等の情報共有および支援を受ける)

#### ③ 各学校への訪問指導

- ・各学校の学校不適應の状況を把握し、改善を図るために定期的に学校訪問をする。  
(中学校全校、小学校の不登校児童数の多い学校を中心に)
- ・また、校内のケース会議の充実が図れるよう助言する。
- ・意図的な教育相談やスクールカウンセラーの効果的活用、コミュニケーション能力の育成を図る。